

	<h2>2. 野営管理章</h2>	★ 考査員認定	富士スカウト章
---	-------------------	---------	---------

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) 野営計画時において次の項目について点検し、点検報告書を作成する。 ア キャンプ地の選定（水質検査を含む） イ 食料および燃料の手配 ウ 便所とごみ捨ての衛生処理 エ 班サイトの立地条件（炊事場・かまど配置条件を含む） オ 現地における緊急対策	報告書の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全なキャンプを確保するという観点が必要。</li> <li>ア：表にまとめさせるとよい。</li> <li>イ：現地調達の可否、輸送、必要数、（非常時対策含む）</li> <li>ウ,オ：現地の状況、対応など</li> <li>エ：サイト設計図は、動線、方位・日照、風向き、地形（仮定）等の要素が説明されていること。</li> </ul>
(2) 朝と夜の点検の重要性と心構えについて説明し、朝と夜の点検の各点検項目表を作成し、それをを用いて実際のキャンプにおいて点検を行い、報告する。	口述または記述と報告書の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜の点検と朝の点検の目的及び方法の違いを明確に。</li> </ul>
(3) キャンプ中に起きるかもしれぬ突発事故（例えば急病、火災、盗難、虫害、風水害など）がおきた場合の処置について説明できること。	口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隊や班（グループ）内の役割分担とその任務や具体的な動き。</li> <li>・自衛手段、一時避難（時機・タイミング、場所、方法、持ち物等）の策定。</li> <li>・団・隊本部との連絡、警察・消防等への連絡とその手段。</li> </ul>
(4) 次のキャンプ用具の格納、保管に当たり、行うべき処置を知ること。 ア テント、フライシート イ グランドシート ウ ベグ エ 工具 オ 炊具 カ ロープ類	口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長く初期状態を維持し、大切に使うという観点で課題の意図を汲む。</li> <li>・実演には、家形テントを用い、ポイントを説明する。</li> <li>・保管については、保管場所の環境整備にも触れさせる。</li> </ul>
(5) 水辺または水泳プログラムを有するキャンプの安全管理につき、特に注意する点を説明できること。	実演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沢、川、湖沼、海、磯等での危険要素を確認させ、その予防策を説明させる。</li> <li>・水泳プログラムについては、キャンプの実施時期、日課、安全確保の方法、についても説明させる。</li> </ul>
(6) キャンプにおいて朝礼、スカウトタウン・サービス、キャンプファイアを計画、実施し、それぞれの意義について説明する。	実演・口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼、スカウトタウン・サービス、キャンプファイアそれぞれの意義及び意図を理解し、それ具現化した企画書、実施計画書を作成、実施した報告を提出する。</li> </ul>
(7) 隊、地区または県連盟など1個隊以上の規模で行われるキャンプ、または常設キャンプ場の管理に通算3昼夜以上奉仕した経験があり、その奉仕記録または報告書を提出する。	記録または報告書の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奉仕の意味を理解していることが前提となる細目である。</li> <li>・報告書には隊長の証印が必要。</li> <li>・報告書の内容について説明させるのもよい。</li> </ul>